

伊勢湾環境保全調査結果（1ヵ年）
（平成29年1月～12月）

第四管区海上保安本部
海洋情報部

1. 目的

四管区本部と中部地方整備局は関係省庁・地方公共団体とともに「伊勢湾再生推進会議」を立ち上げた。本調査は伊勢湾再生へ向けた海域環境のモニタリングの一環として環境保全調査を実施し、水温、塩分等の情報を提供することを目的とする。

2. 調査実施概要

(1) 使用した船舶

測量船「いせしお」(27トン)

(2) 調査区域

付図に示すとおり

(3) 調査項目

- ・水温、塩分、溶存酸素量(以下「DO」という。)

測定機器：JFEアドバンテック RINKO-Profiler ASTD153

- ・流向、流速

測定機器：古野電気(株)製 CI-60G

(4) 調査実施日

	調査年月日	観測点数	欠測点数
平成 29 年	1 月 19 日、20 日	23	1
	2 月 14 日、16 日	23	1
	3 月 13 日	23	5
	4 月 20 日、21 日	23	1
	5 月 29 日、30 日	23	0
	6 月 28 日、29 日	23	0
	7 月 18 日、19 日	23	0
	8 月 21 日、22 日	23	0
	9 月 20 日、21 日	23	0
	10 月 16 日、17 日	23	3
	11 月 28 日、30 日	23	1
	12 月 13 日	23	14

3. 調査結果（調査結果の詳細はホームページに掲載）

伊勢湾の水温は、1月～3月は湾全域でほぼ「平年並み」、4月は湾奥で「やや低い」～「低い」、5月は表層で「やや高い」～「かなり高い」、9月からは表層で「平年並み」～「低い」で推移し、11月は湾全体で「低い」結果となった。

湾内底層の貧酸素水塊は、5月から湾内全域で発生しており発生時期は「平年並み」。その後湾口では7月に一時的に5mg/l台になるものの、8月には0mg/l台を観測し、湾全体の中層まで貧酸素水塊が広がった。湾口では9月以降、湾内全域では11月以降貧酸素水塊は観測されず、貧酸素水塊解消時期は「平年並み」。

各月の調査結果（表1及び図1-1～図1-3）

1月

水温は湾内全域でほぼ「平年並み」。水温の逆転現象がみられ海面の冷却による鉛直循環により海底までほぼ一様。湾奥の表層で26PSU台の低塩分水がみられたが湾央では32PSU台であった。底層のD0は湾内の最も低い値で7mg/l台であった。

2月

水温は湾奥～湾央で「平年並み」、湾口では「やや高い」。湾内で30PSU未満の低塩分水はみられず、底層のD0は湾内の最も低い値で7mg/l台であった。

3月

水温は湾奥で「平年並み」、湾央表層で「やや低い」。湾奥で30PSU未満の低塩分水がみられた。底層のD0は湾内の最も低い値で7mg/l台であった。

4月

水温は湾奥で「やや低い」～「低い」となり、水温成層が形成されている。湾全域の表層で30PSU未満の低塩分水がみられた。底層のD0は湾内の最も低い値で5mg/l台であった。

5月

水温は湾内全域の表層で「高い」～「かなり高い」一方底層では「平年並み」から「低い」。湾奥～湾央にかけて表層に30PSU未満の低塩分水がみられた。底層では貧酸素水塊が湾央を中心に広がり、湾内のD0の最も低い値で1mg/l台であった。

6月

水温は湾奥で「平年並み」から「やや高い」、湾口表層で「低い」。湾奥～湾央にかけて表層で30PSU未満の低塩分水がみられた。底層では貧酸素水塊が湾央を中心に広がっており、湾内のD0の最も低い値で1mg/l台であった。

7月

水温は湾央～湾口の表層で「やや高い」、湾奥～湾央の底層で「やや低い」～「低い」。湾奥～湾口の表層にかけて 30PSU 未満の低塩分水がみられた。貧酸素水塊は湾奥～湾央において底層から中層まで発達し、湾内の DO の最も低い値で 0mg/l 台であった。

8月

水温は湾全域で「平年並み」から「高い」。湾奥の表層では 10PSU 台の低塩分水がみられた。貧酸素水塊はさらに拡大し、湾口の底層から中層まで広がっている様子が見られた。

9月

水温は湾口底層で「やや高い」、それ以外の湾全域で「平年並み」から「低い」。湾内の表層と底層の水温差が小さく水温成層が弱まっている。湾央～湾口中層の貧酸素水塊は解消され、湾内の DO の最も低い値で 1mg/l 台であった。

10月

水温は、湾口底層で「高い」、それ以外の湾全域で「平年並み」。水温の逆転現象がみられ、今後鉛直混合が進むとみられるが、湾奥～湾央の底層では 0mg/l 台の貧酸素水塊が発達していた。

11月

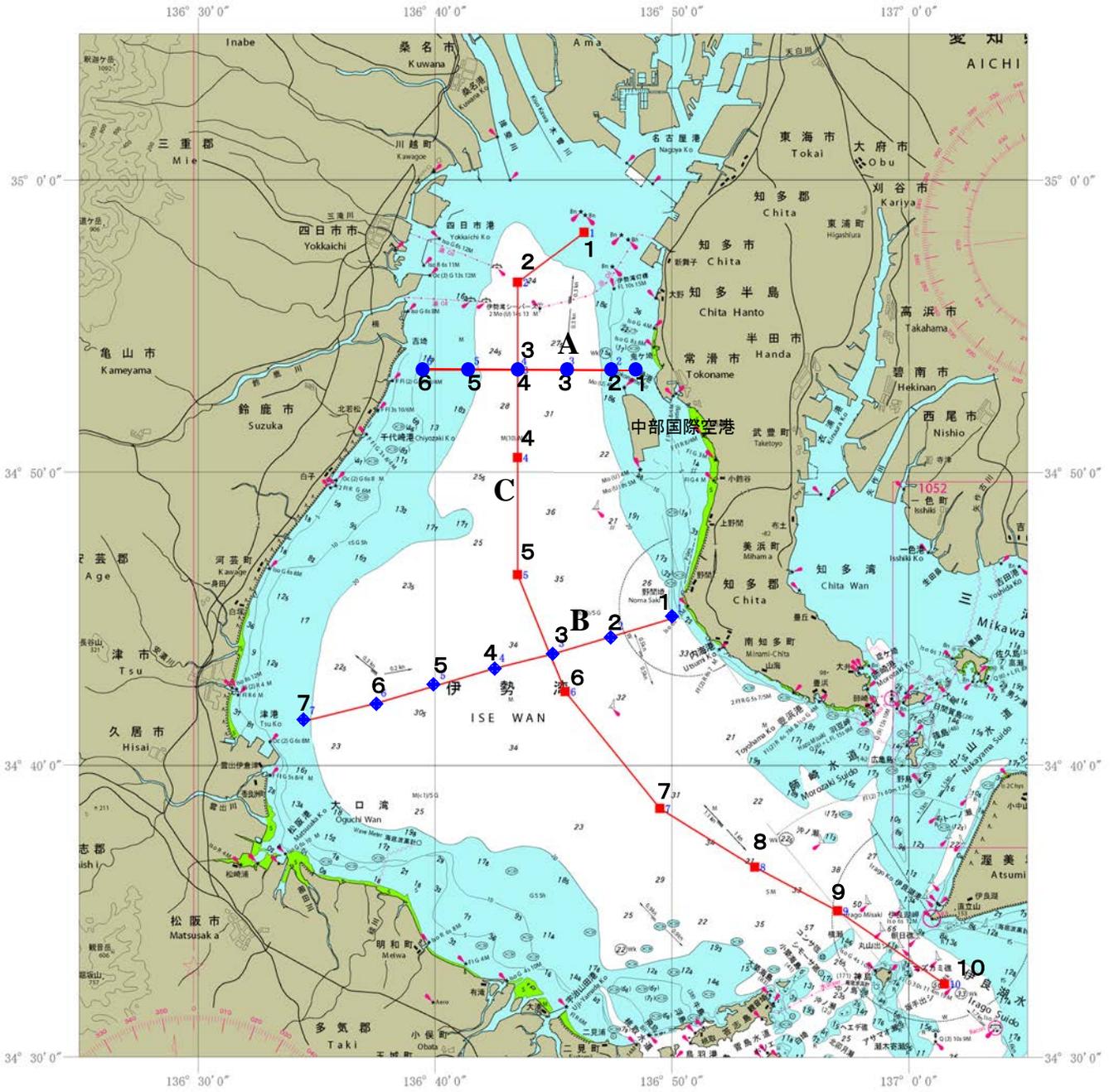
水温は湾全域で「やや低い」～「低い」、湾央の底層では 34PSU 台の高塩分水がみられた。底層の DO は湾内の最も低い値で 4mg/l 台で湾内の貧酸素水塊は解消された。

12月

水温は湾奥～湾央の底層で「やや高い」～「高い」。湾央の表層では「やや低い」。湾奥～湾央で 30PSU 未満の低塩分水は観測されず、底層の DO は湾内の最も低い値で 4mg/l 台であった。

※「湾奥」、「湾央」、「湾口」の区分については図 2 のとおり

伊勢湾環境保全調査測点図



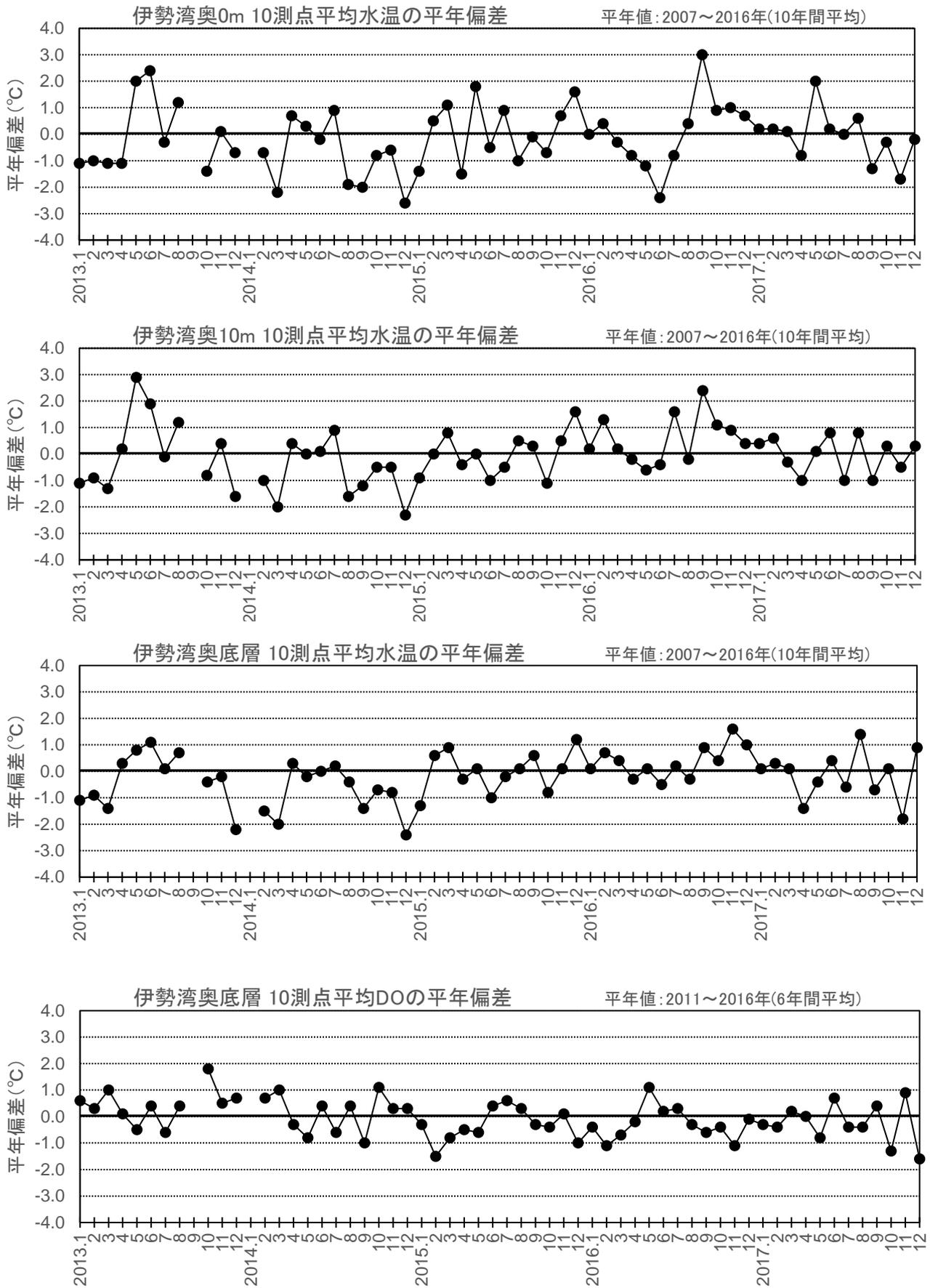


図1-1 伊勢湾奥10測点の平均水温の平年差及び平均DOの平年差

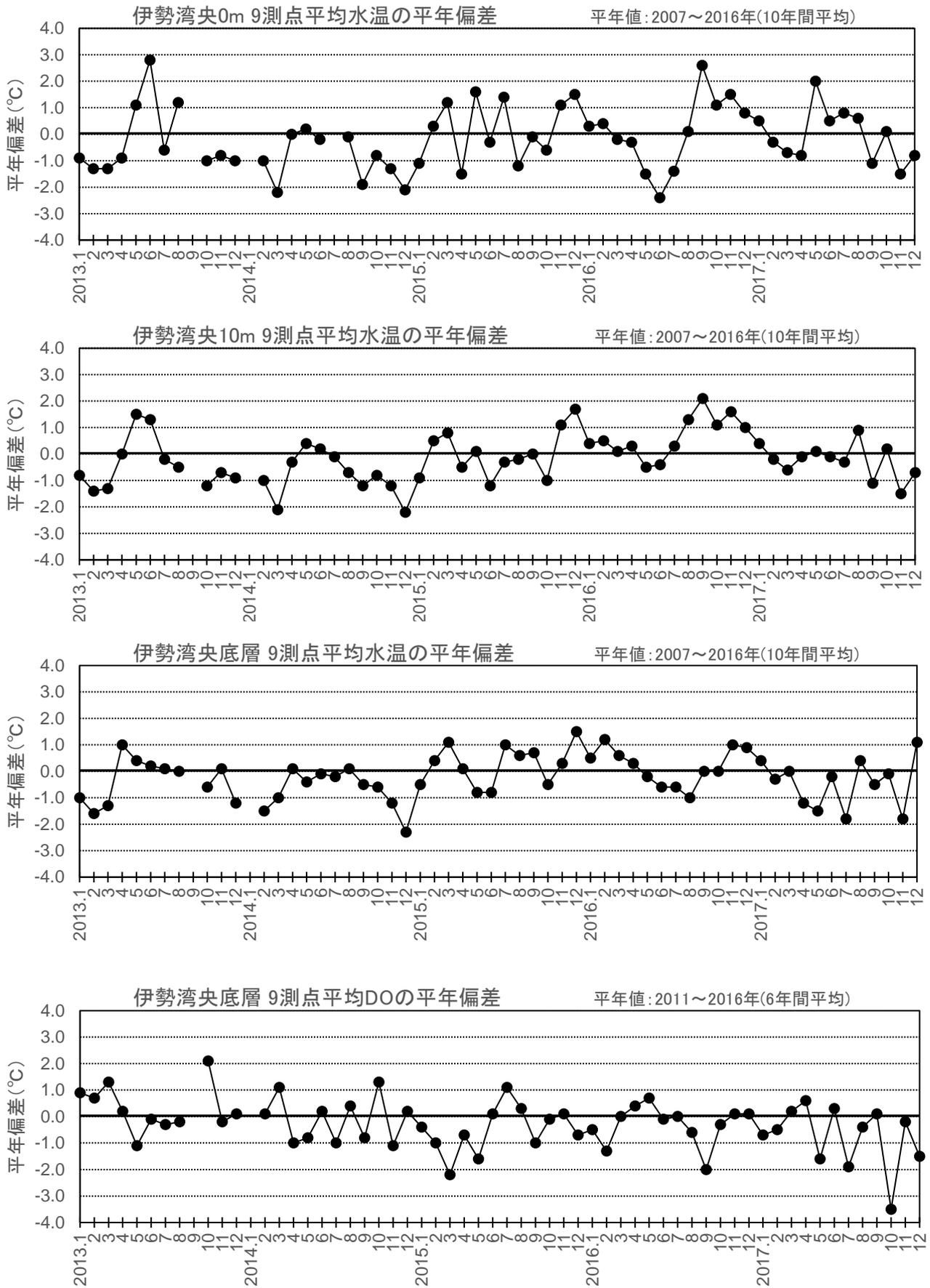


図1-2 伊勢湾央9測点の平均水温の平年差及び平均DOの平年差

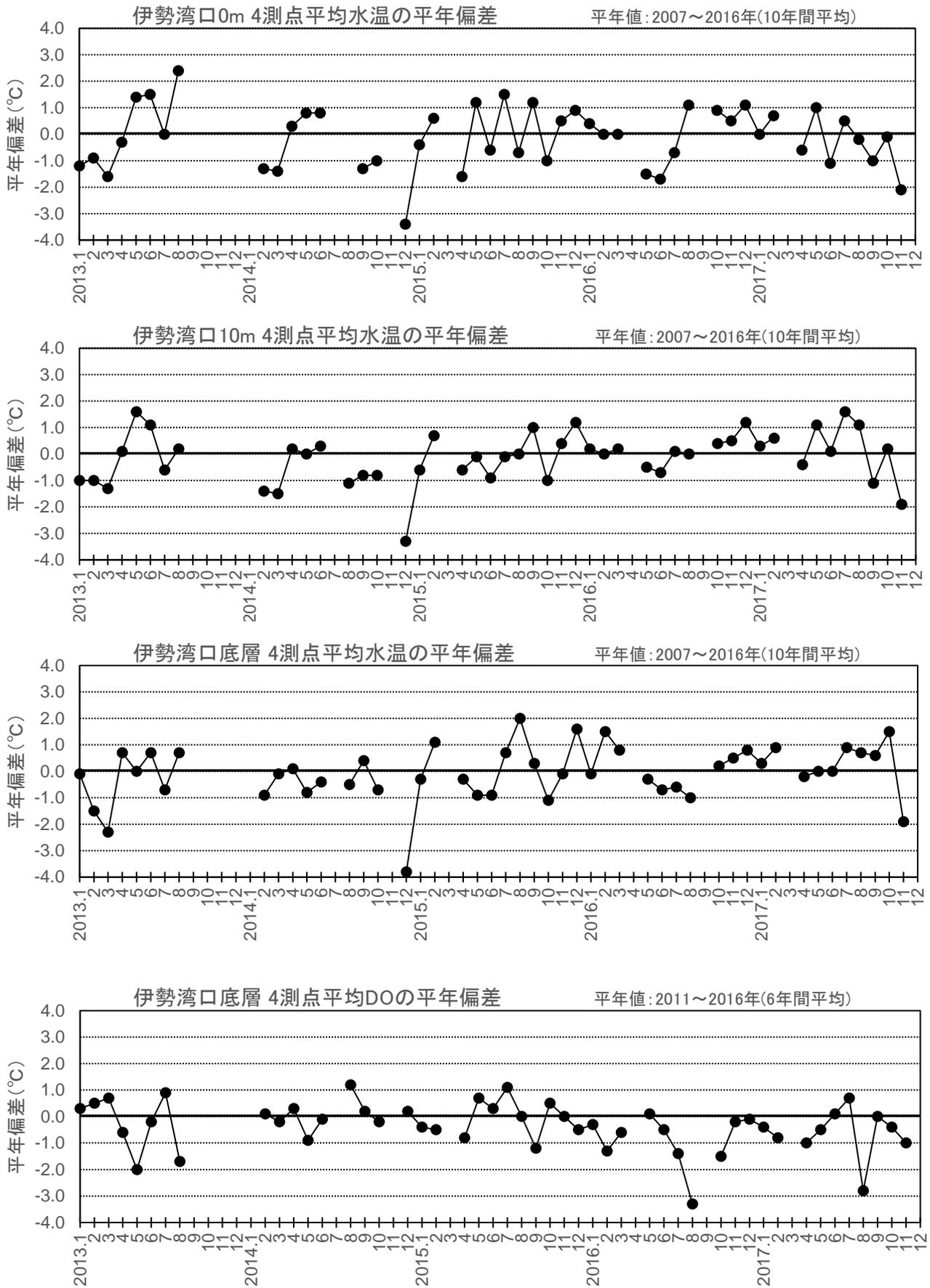


図1-3 伊勢湾口4測点の平均水温の平年差及び平均DOの平年差

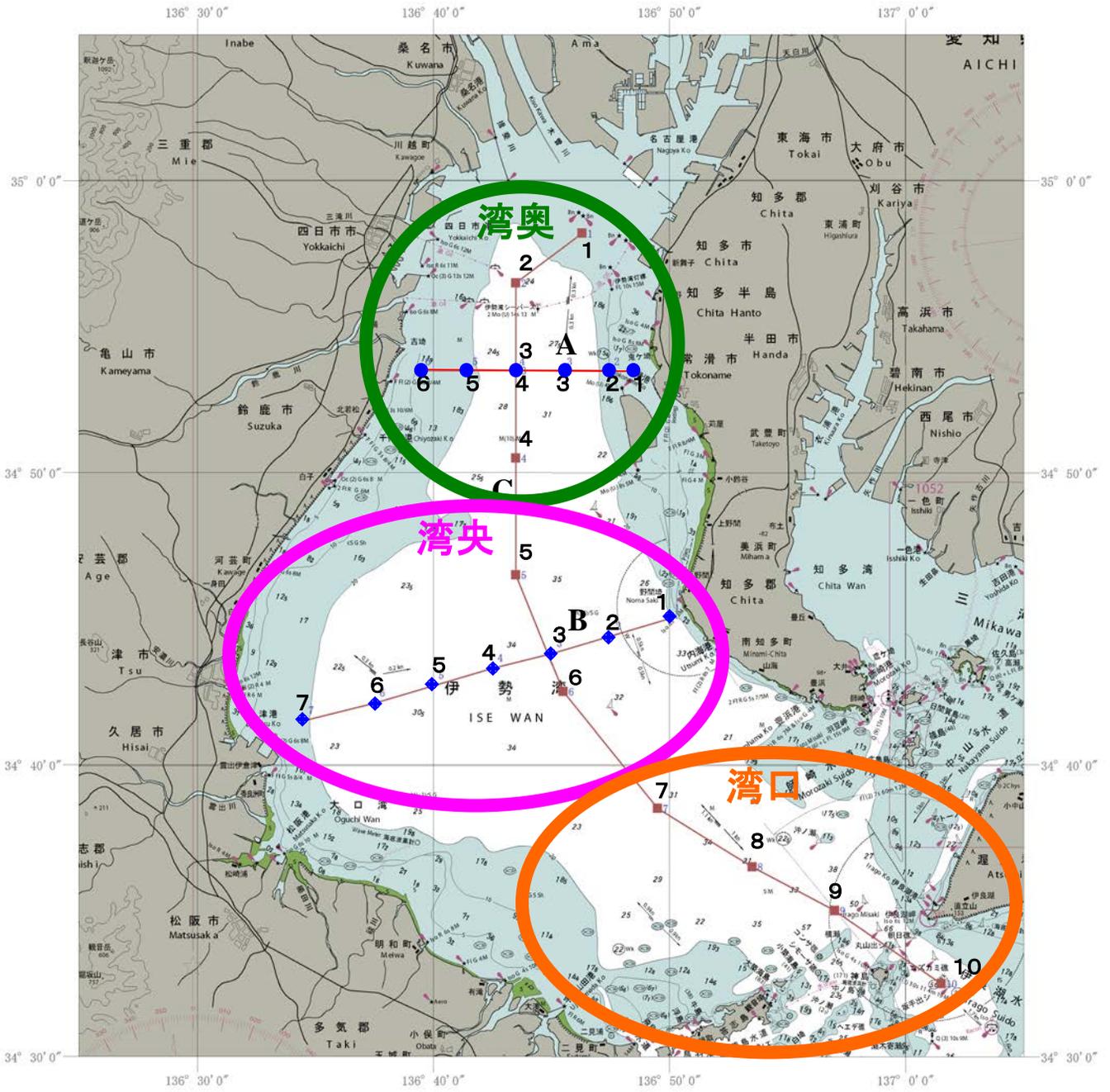


図2 湾奥～湾央～湾口の区分について